



白鳥会長の挨拶

清水女流王将は、女流棋士として男性プロ棋士相手に数々の戦績を残され、名実ともに女流トップの方であるとともに、淑やかさの中に意志の強さを秘めた素晴らしい方であるとお見受け致しました。

しかし、今回の対局では日本将棋連盟の代表として戦われることでもあります。我が情報処理学会は、対戦にあたり容赦せずコンピュータ将棋協会の教智を集めたソフトウエアと、その実力を十分發揮できるハードウエアからなる「あから2010」を用意し、全力を挙げて戦います。

結果は中すまでもなく、日本将棋連盟の名代としての清水女流王将を抜く手も見せず、一刀両断するであります。

平成二十二年十月十一日
一般社団法人情報処理学会
会長 白鳥 則 郎

太古の昔から日本人は自然界のあらゆる事物に人格を見出す民族であり続けています。日本人は機械に対しても寛容であり、機械に人格を感じることも普通の事です。このことはかたがたの小惑星から戻ってきた人工惑星に強い愛着を持つことからよく理解できます。

私は、このイベントは決して人間対機械という構図で捉えるべきではなく、今日という日は機械が機械として人間の世界で認められた画期的な日として、歴史に刻まれると思っています。これから長年に亘って、将棋の世界は人間が人間として、機械が機械として入り乱れ、戦うという次のステージに入るのではないのでしょうか。そのような歴史的な節目に立ち会うことができて大変幸甚です。

人間である清水女流王将にも機械である「あから2010」にも真剣勝負を期待しております。

平成二十二年十月十一日
東京大学大学院
情報理工学系 萩谷昌己



萩谷昌己東京大学大学院情報理工学系研究科長の挨拶

現在 HDD は垂直磁気記録方式が全盛です。垂直磁気記録方式の発明により日本国際賞を受賞された東北工業大学の岩崎俊一先生によれば、一つの技術が世の中で物になるまでには 25 年の歳月が必要とのことでした。垂直磁気記録方式と言えはその昔日本語ワードプロセッサ OASYS の開発をしていた頃は 3.5 インチ 2HD (1.44MB) FD が世の中の主流でしたが、文字フォントや辞書を大量に提供するビジネス OASYS (300 万円) では 5 インチ 2ED (2.88MB) FD を使用していました。それでも提供媒体が何十枚という量なので、さらなるコストダウンのために新メディアを探していたところ東芝が 1988 年 9 月世界で初の垂直磁化方式の 3.5 インチ (4MB) 「FD-3541」を発表しました。これぞ天佑と思ったのですが、世の中の主流でない媒体の採用はコストアップに繋がるということで採用を諦め、結果的には正解でした。

10 月 11 日 (月) 東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館における情報処理学会のコンピュータ将棋システムあから 2010 と日本将棋連盟の清水女流王将との公式な対局で、あから 2010 は期待通り清水女流王将を抜く手も見せ

ず一刀両断いたしました。コンピュータ将棋の元始から数えて実に苦節 36 年目の出来事でありました。私がコンピュータ将棋選手権に関係した 1996 年から数えても 15 年の年月が経ちました。当時はコンピュータ将棋が自分を越えることは一生掛かってもあるまいと思っていました。今回の勝利は、名人打倒に向けての一歩ではありますが、あから 2010 システム開発の中心となったコンピュータ将棋協会のメンバにとっては偉大な飛躍でありました。このニュースは各国語に翻訳され、たちどころに世界中を駆け巡りました。

(湖東俊彦/事務局長)



里見香奈女流名人・倉敷藤花の色紙



(左) 対局場の様子
(右) 清水女流王将と

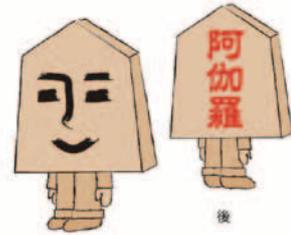


《あから 2010 キャラクター候補一覧》



あから博士

あゆむ君

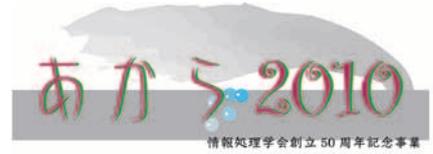


後

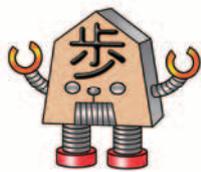
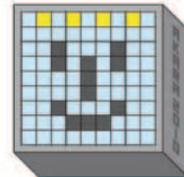
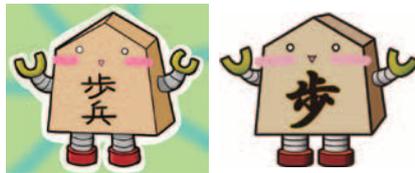
あから博士のあいらちやんはプロレスで、両腕の一手を見せつけたのですがそれを発表できずに亡くなってしまいました。あからちゃんも博士の墓に参りましたが、最近その墓を掘って両腕の一手を盗みまくるコンピュータ犯罪の調査を始めました。あからちゃんもあからちゃんで作ったパソコンが助手です。



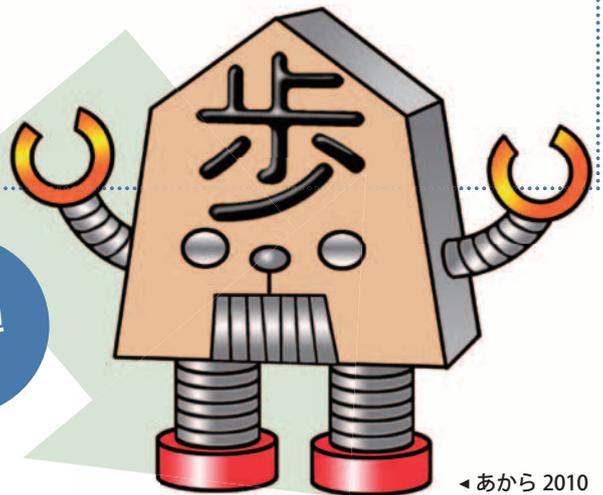
あから2010



情報処理学会創立50周年記念事業



決定!



◀ あから 2010

平成 22 年度山下記念研究賞表彰 (概要)

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は 34 研究会の主査から推薦された計 53 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、理事会 (平成 22 年 7 月) および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 53 君で、3 月 3 日に東京工業大学で開催される第 73 回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

[コンピュータサイエンス領域]

- **Web 検索を用いた関連のある概念間の関係抽出手法**
[データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2010) (H22.2.28)] (データベースシステム研究会)
白川真澄君 (学生会員)
- **モデルに基づく誤り特定と反例修正候補の提示**
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム (SES 2009) (H21.9.8)] (ソフトウェア工学研究会)
熊澤 努君 (学生会員)
- **CX-Checker : C 言語プログラムのためのカスタマイズ可能なコーディングチェッカ**
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム (SES 2009) (H21.9.8)] (ソフトウェア工学研究会)
大須賀俊憲君 (正会員)
- **3 次元 DRAM- プロセッサ積層実装を対象としたオンチップ・メモリ・アーキテクチャの提案と評価**
[2009-ARC-183 (H21.4.22)] (計算機アーキテクチャ研究会)
橋口慎哉君 (学生会員)
- **追い出しラインに着目したプリフェッチスロットリング手法**
[2009-ARC-184 (H21.8.5)] (計算機アーキテクチャ研究会)
入江英嗣君 (正会員)
- **テラスケールコンピューティングのための遠隔スワップシステム Teramem**
[先進的計算基盤システムシンポジウム (SACSIS 2009) (H21.5.29)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
山本和典君 (正会員)
- **Kemari : 仮想マシン間の同期による耐故障クラスタリング**
[コンピュータシステム・シンポジウム 2009 (H21.11.26)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
田村芳明君 (正会員)
- **Increasing Yield Using Partially-Programmable Circuits**
[2009-SLDM-142 (H21.12.4)] (システム LSI 設計技術研究会)
山下 茂君 (正会員)
- **並列ブランディング・プログラム・マシンを用いたパケット分類器について**
[2010-SLDM-143 (H22.1.27)] (システム LSI 設計技術研究会)
中原啓貴君 (正会員)
- **アクセラレータによる四倍精度演算**
[2009-HPC-121 (H21.8.6)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
中里直人君 (正会員)
- **OpenCL による GPU コンピューティングの性能評価**
[2010-HPC-124 (H22.2.23)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
荒井勇亮君 (学生会員)
- **自動並列化のための Element-Sensitive ポインタ解析**
[(H21.10.29)] (プログラミング研究会)
間瀬正啓君 (正会員)
- **A linear time algorithm for L (2,1) -labeling of trees**
[2009-AL-127 (H21.11.27)] (アルゴリズム研究会)
小野廣隆君 (正会員)
- **スパイクレスポンスモデルの位相応答曲線**
[2009-MPS-76 (H21.12.18)] (数理モデル化と問題解決研究会)
飯田宗徳君 (学生会員)
- **組込み型 GUI プロダクトライン開発への実践的アプローチ**
[組込みシステムシンポジウム (ESS2009) (H21.10.23)] (組込みシステム研究会)
久代紀之君 (正会員)
- **ソフトウェアアーキテクチャ事前設計を目的とするフィーチャモデリングのアンチパターン**
[組込みシステムシンポジウム (ESS2009) (H21.10.23)] (組込みシステム研究会)
中西恒夫君 (正会員)

[情報環境領域]

- **遅延状況を考慮した構造型 P2P オーバレイネットワーク構築法**
[2009-DPS-139 (H21.6.19)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
木谷友哉君 (正会員)
- **アクルーアル型故障検出器 ACCMOS の実装と評価**
[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (H21.10.9)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
林原尚浩君 (正会員)
- **コミュニケーション活性度に基づいて発話制御を行う初対面紹介エージェント**
[2009-HCI-133 (H21.5.16)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
笹間亮平君 (正会員)
- **印刷情報を読み取るための“透明な板”：リモコンに搭載しやすい読み取り装置の構成**
[インタラクション 2010 (H22.3.1)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
前田篤彦君 (正会員)
- **柔軟な物体の能動的な動作の表現手法**
[Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム (H21.6.26)] (グラフィクスと CAD 研究会)
井尻 敬君 (正会員)
- **ランダムフォレスト法を用いた人体動作検索**
[2010-CG-138 (H22.2.11)] (グラフィクスと CAD 研究会)
浜田祐一君 (正会員)
- **エージェントベースシミュレーションを用いた姉川・高時川下流域における広域避難に関する考察**
[2009-IS-109 (H21.9.15)] (情報システムと社会環境研究会)
枝廣 篤君 (正会員)
- **転置ファイルによる大規模 n-gram データの検索システム**
[2009-FI-95 (H21.7.28)] (情報基礎とアクセス技術研究会)
矢田 晋君 (正会員)

- **HDTV 対応双方向通信用 H.264/AVC リアルタイムソフトウェアコーデック**
[2010-AVM-68 (H22.3.4)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)
佐野 卓君 (正会員)
- **会議支援システムを用いた会議内容情報の再利用性の考察**
[2009-GN-72 (H21.5.21)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
本橋洋介君 (正会員)
- **群衆コミュニケーション支援のための理論的枠組とインタフェースの試作**
[2010-GN-75 (H22.3.19)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
瀧 寛文君 (正会員)
- **異種 XML データに対するファセット検索手法の提案**
[2009-DD-73 (H21.9.25)] (デジタルドキュメント研究会)
駒水孝裕君 (正会員)
- **DLNA デバイスの操作履歴取得手法の検討**
[2010-MBL-52 (H22.1.29)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
猿渡俊介君 (正会員)
- **Twitter におけるコンテキストと単語の相関関係分析**
[2010-MBL-53 (H22.3.27)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
荒川 豊君 (正会員)
- **Wolf および Lamb に対する安全性の高い生体認証の提案**
[コンピュータセキュリティシンポジウム(CSS 2009) (H21.10.27)] (コンピュータセキュリティ研究会)
村上隆夫君 (正会員)
- **生体とデバイスの感度の違いを利用した映像の盗撮防止方式**
[コンピュータセキュリティシンポジウム(CSS 2009) (H21.10.27)] (コンピュータセキュリティ研究会)
山田隆行君 (学生会員)
- **車線変更軌跡の確率的予測モデル**
[2009-ITS-37 (H21.6.12)] (高度交通システム研究会)
西脇由博君 (正会員)
- **端末伝送型インターネット放送における再生中断に関する評価**
[2009-EVA-29 (H21.8.5)] (システム評価研究会)
義久智樹君 (正会員)
- **看護業務支援のためのセンサネットワーク・アーキテクチャ**
[2009-UBI-23 (H21.7.16)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
大村 廉君 (正会員)
- **ウェアラブルセンサによるモノを用いた行動の認識について**
[2010-UBI-25 (H22.3.27)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
前川卓也君 (正会員)
- **Open Autonomic Networking (OAN) SDK を用いたネットワーク管理ツールへの応用**
[2009-IOT-6 (H21.6.27)] (インターネットと運用技術研究会)
新 善文君 (正会員)
- **集約 Skip Graph: 効率的な集約クエリを実現する Skip Graph 拡張の提案**
[インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS 2009) (H21.12.11)] (インターネットと運用技術研究会)
阿部敏之君 (正会員)

[フロンティア領域]

- **ウェブ検索ログを用いたラベル伝播による意味カテゴリ獲得**
[2009-NL-191 (H21.5.21)] (自然言語処理研究会)
小町 守君 (正会員)
- **Latent Dirichlet Allocation における決定論的オンラインベイズ学習**
[2009-NL-193 (H21.9.28)] (自然言語処理研究会)
佐藤一誠君 (学生会員)
- **複数論点交渉問題における相互依存関係指標およびスケラブルな交渉メカニズムの提案**
[2010-ICS-159 (H22.3.15)] (知能システム研究会)
藤田桂英君 (学生会員)
- **Improvements of IP Representation, Fitting and Registration**
[2009-CVIM-167 (H21.6.9)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
鄭 波君 (正会員)
- **コンピューショナルフォトグラフィ理解のための光学系入門**
[2010-CVIM-171 (H22.3.18)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
日浦慎作君 (正会員)
- **計測学習を取り入れたロボット制御教材**
[2009-CE-99 (H21.5.23)] (コンピュータと教育研究会)
紅林秀治君 (正会員)
- **CS アンプラグドの学習法とそのユニバーサル化**
[情報教育シンポジウム (SSS 2009) (H21.8.20)] (コンピュータと教育研究会)
間辺広樹君 (学生会員)
- **近代日本 (1868 ~ 1945) における身装電子年表**
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2009) (H21.12.19)] (人文科学とコンピュータ研究会)
高橋晴子君 (正会員)
- **中古和文を対象とした形態素解析辞書の開発**
[2010-CH-85 (H22.2.6)] (人文科学とコンピュータ研究会)
小木曾智信君 (正会員)
- **Spectrogram consistency and its application to phase reconstruction**
[2009-MUS-81 (H21.7.30)] (音楽情報科学研究会)
Jonathan Le Roux 君 (正会員)
- **最小相対エントロピー識別学習に基づくカーネルマシンを利用した音声認識**
[2009-SLP-77 (H21.7.17)] (音声言語情報処理研究会)
久保陽太郎君 (正会員)
- **Dirichlet 事前分布を用いた音声区間検出の検討**
[2009-SLP-79 (H21.12.22)] (音声言語情報処理研究会)
藤本雅清君 (正会員)
- **将棋における合議アルゴリズム: 既存プログラムを組み合わせる強いプレイヤーを作れるか?**
[ゲームプログラミングワークショップ 2009 (H21.11.14)] (ゲーム情報学研究会)
小幡拓弥君 (学生会員)
- **物語テキストを基にした漫画のコマの生成手法の提案**
[2009-EC-13 (H21.5.22)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
高嶋航大君 (学生会員)
- **タンパク質の特性に基づく unbound ドッキングのための剛体予測手法の改良**
[2010-BIO-20 (H22.3.4)] (バイオ情報学研究会)
松崎裕介君 (正会員)

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「エネルギーの情報化～ITによる電力マネジメント～」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■高品質の供給体制を完成してしまったようにも見える日本では、品質を落とすスマートグリッド化は避けているのではないかと考えていたが、エネルギー情報化の研究は着実に進展していることが分かった。設置コストや利便性、長期的展望、品質管理などを含めて、インターネットのように一体化を進める仕組みがあったら詳しく知りたい。(匿名希望)

■今回の特集は電力マネジメントに情報処理(研究)がどのように取り組めるかという切り口が分かり参考になりました。この分野は情報以外にも建築やエネルギーといった分野からのアプローチがあり、情報に特化した面でどういう面から貢献が可能かということを知りたいと思っていました。我が国固有の問題(レギュレーションや産業構造)もあり、紹介された内容がどのような形で継続、発展していくのか想像しながら読み進むことができ、読み応えがありました。(匿名希望)

■スマートグリッドと言うと一般にはテレビのCMなどでは「電気の流れをネットワークとし、効率よく電気の供給を安定させる」という風に認識していたが、国の文化に違いがあるように、国にも電気の供給の安定度に違いがあることまでは知らなかった。私たちが住む日本はなんと快適な生活を提供されていることかと驚愕した。日本には不適合なのではないかと感じるスマートグリッドだが、私としては家庭内ナノ・グリッドにより、家の中の電気状況が見えるようになるということには大いに賛同したい。(匿名希望)

■現在の技術課題において何がポイントとなっているかよく理解することができた。(坂川浩二郎)

■生きるために不可欠な電力の基礎がよく分かった。米国の「スマートグリッド」と「エネルギーの情報化」の違いも初めて知った。今後のエネルギーの情報化への取り組みに期待したい。(小松久美子)

■エネルギーの情報化に関してはスマートタップくらいしか知らなかったのでとても勉強になりました。(松本みどり)

■非常に参考になった。グリーンイノベーションを実現する

ため、グリーンITが注目されており、タイムリーな特集であった。米国のスマートグリッドの動向記事も分かりやすく大変良かった。(石澤隆範)

ミニ特集「コンピュータ将棋の不遜な挑戦」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■コンピュータ将棋に関するミニ特集は、いずれの記事も大変興味をそそられるものであった。特に、棋士の立場で書かれた3つの記事は、コンピュータ将棋を別の切り口で解説しており、大変面白かった。できれば、10月11日の対局後に、同じ方々に解説記事を書いていただけないだろうか。(匿名希望)

■将棋を趣味としており、女流棋士とコンピュータソフトとの対決に大変興味を持っています。コンピュータを研究に利用している者としてコンピュータを応援する気持ちもあり、人間にがんばってほしい気持ちもあります。古作氏の文章を読むとソフトには弱点があるようなので、ソフトが人間に勝つにはもう少し時間がかかるのかなと予測しています。(廣田千明)

■将棋は歴史あるトライではあると思うが、学術的な観点で捉えた解説がほしい。イベントは一部の読者の関心事ではあると思うが、これだけの紙面を割くまでのテーマではないと思う。(岩井真澄)

■これまでのコンピュータ将棋の変遷や最新の状況について丁寧に説明されており、10月の対局がますます楽しみになった。(坂川浩二郎)

■秋の対戦を控え、今後の行方から目が離せない。人知を尽くす闘いは、双方を新しい発見に導くことと思う。(小松久美子)

解説「崩壊する周産期医療を救うIT—分娩監視装置の開発から遠隔医療、そして日本版EHRの全国展開まで—」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■1日も早い実用化を願ってやまない。妊婦および胎児を常時モニタリングすることで、妊婦自身の健康管理の推進・出産リスクの回避が可能になり、「命がけの仕事」から少しでも安心かつ安全な分娩につながることに期待したい。(匿名希望)

■医療とITに関する分野は、今後、最もニーズがあると思われるので、毎回、1つ以上は記事があったほうが、学生など若者の興味関心が高まると思います。(皆月昭則)

連載「記述の科学 第1回 記述とは」につきましては、以下のよう
なご意見・ご感想をいただきました。

■記述の科学は、ITの原点に立ち戻って考えてみるという点
で興味を持ちました。次回以降が楽しみです。(匿名希望)

連載「研究会推薦博士論文速報」につきましては、以下のよう
なご意見・ご感想をいただきました。

■日本国内だけではなく国外(海外)の大学・高等教育研究
機関において授与された博士学位の論文も紹介してほしいと
思います。(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のよう
なご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■このところボリュームも多く、内容も多彩であるが、書い
ている方々の自己満足とならないようなチェックも必要だ
と思う。(匿名希望)

■スマートグリッドを題材にシステム構築というマクロな視
点を取り上げる一方で、コンピュータ将棋でアルゴリズム
というミクロな視点を取り上げるというのは、情報処理の
2つの局面を示す良い構成だったと思います。(阿南佳之)

■情報技術が進んでいる世界の国の最新の状況を、ローカ
ルな視点から個別に紹介してほしい。(人見憲司)

■現在大学院や大学で行われている情報科学の教育について

特集していただきたいです。日本と海外との違い、海外の動
向なども特集として取り上げていただけると嬉しいです。

(匿名希望)

■今後取り上げてほしいテーマとしては「素因数分解技術の
進展」や「選手権優勝記—激指の技術的改良の解説—」に
あるような、アルゴリズムの解説を増やしていただきたい。
理由は、すぐにプログラミングをしたくなるようなテーマが、
その分野への興味を高め、知識を得ようとする動機になる
と思うから。

会誌 Vol.50 No.9 (Sep. 2009) の「アドバイザーボード
からの提言…」によると、弱みとして「実務界のニーズに十
分応えられていない、積極的な入会の勧誘を行っていない」
とあり、脅威として「会員数が一貫して減少」とあるので、
その対策として、新入生向け・新社会人向けの入門的な連載
をお願いしたい。なぜなら、そうすれば、多くの方々が、そ
の説明の良し悪しにツッコミを入れなくなって、結果として、
より多く読まれるものになるだろうから。そういう意味では、
今号から連載の「記述の科学」には期待しているが、もう少し
分かりやすくしてほしい。具体的に言えば、「Pascal プロ
グラミング対話」や「初めての人のための LISP」のような
雰囲気。(大垣憲俊)

【本欄担当 林 雄介, 花谷嘉一/書評・ニュース分野】

10月号に掲載された連載「古機巡礼/二進伝心」に対する浅井治彦様
のご意見(実際は述懐)は、ページの制約のため会員の広場用に編集し
掲載いたしました。その結果、執筆者の意図とは異なった内容になっ
ておりました。浅井様には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び
申し上げます。なお、原文は Web 版会員の広場に掲載しております。

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載して
いますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい
会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「組込み/リアルタイムソフトウェア」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-M.html	11月30日(火)		
	論文誌「人と共存するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-N.html	11月30日(火)		
	平成22年度喜安記念業績賞候補推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/H22/h22boshu.html	12月3日(金)		
11月18日(木)～	第174回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	9月6日(月)	当日のみ	福岡大学
11月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM174.html			
11月18日(木)～	第199回自然言語処理研究発表会	10月5日(火)	当日のみ	広島市立大学 講堂小ホール
11月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL199.html			
11月19日(金)	第132回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL132.html	9月13日(月)	当日のみ	先端科学技術推進機構
11月20日(土)	北陸支部研究講演会「脆弱性はなぜ作られるのか」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/CCP012.html		無料 非会員も参加可	金沢工業大学扇が丘 キャンパス
11月20日(土)～	第107回コンピュータと教育研究発表会	10月4日(月)	当日のみ	香川大学
11月21日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html			
11月22日(月)	第161回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ICS161.html	10月1日(金)	当日のみ	国立情報学研究所 (東京都千代田区)
11月22日(月)～	IWSEC2010 International Workshop on Security			神戸国際会議場
11月24日(水)	http://www.iwsec.org/2010/			
11月25日(木)～	第145回マルチメディア通信と分散処理・	9月21日(火)	当日のみ	法政大学
11月26日(金)	第77回グループウェアとネットワークサービス・ 第50回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DPS145GN77EIP50.html			小金井キャンパス
11月26日(金)	第78回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD78.html		当日のみ	東京大学本郷キャンパ ス工学部
11月29日(月)	第33回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EVA33.html		当日のみ	東京工科大学八王子 キャンパス
11月29日(月)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys 2010)	7月16日(金)	11月16日(火)	大阪大学
11月30日(火)	http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2010		早期割引申込締切	中之島センター
11月29日(月)～	第147回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2010)	9月3日(金)	当日のみ	九州大学 医学部 百年講堂
12月1日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM147.html			
12月1日(水)	第114回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/	10月6日(水)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
12月2日(木)	北陸支部研究講演会「生体認証と暗号技術」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/CCP012.html		無料 非会員も参加可	富山県立大学
12月2日(木)～	第3回インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2010)	9月14日(火)		山口ケーブルビジョン
12月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOTS2010.html			
12月2日(木)～	第71回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	10月14日(木)	当日のみ	名古屋大学
12月3日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM71.html			
12月4日(土)～	第88回情報処理学会音楽情報科学研究発表会	10月4日(月)	当日のみ	昭和音楽大学 南校舎
12月5日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS88.html			
12月6日(月)	連続セミナー 2010 第6回「次世代クラウドコンピューティングに向けて」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
12月6日(月)～	第19回組込みシステム研究発表会	10月22日(金)	当日のみ	熊本大学黒髪南地区
12月7日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EMB19.html			
12月7日(火)	東海支部講演会「Webコンテンツの推薦技術～最新動向と開発事例～」 http://www.ipsj-tokai.jp/		無料 非会員も参加可	東桜会館(愛知県名古屋 市)
12月8日(水)	北陸支部研究講演会「クラウドを支えるハードウェア・ソフトウェア基盤技術」 http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/CCP012.html		無料 非会員も参加可	金沢大学
12月9日(木)	第3回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/cle/	10月15日(金)	当日のみ	京都大学
12月10日(金)	第51回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CSEC51.html	10月8日(金)	当日のみ	名古屋大学情報基盤 センター 講習室
12月11日(土)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2010」		当日可	東京工業大学
12月12日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-CH2010.html			
12月16日(木)～	第184回計算機アーキテクチャ・第128回ハイパフォーマン ス	9月24日(金)	当日のみ	北海道大学学術交流 会館
12月17日(金)	コンピューティング合同研究発表会 (HOKKE-18) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC184HPC128.html			
12月16日(木)～	第81回数理モデル化と問題解決・第23回バイオ情報学	10月21日(木)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパ ス
12月17日(金)	合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MPS81BIO23.html			
12月20日(月)～	第84回音声言語情報処理研究発表会	10月18日(月)	当日のみ	国立オリンピック記念 青少年総合センター
12月21日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLP84.html			
2011年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(月)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-K.html	3月28日(月)		
1月7日(金)～	第52回プログラミング・シンポジウム			ニューウェルシティ 湯河原
1月9日(日)	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			
1月12日(水)	第133回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL133.html	11月8日(月)	当日のみ	愛媛大学 総合メディア センター

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
1月17日(月)～	第148回システムLSI設計技術研究発表会	11月5日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月18日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM148.html			
1月18日(火)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学	9月24日(金)		産業技術総合研究所 共用講堂
1月19日(水)	シンポジウム (HPCS2011) http://www.hpcc.jp/hpcs/			
1月20日(木)～	第175回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	11月1日(月)	当日のみ	立命館大学
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM175.html			
1月20日(木)～	第78回グループウェアとネットワークサービス研究会	11月12日(金)	当日のみ	鹿児島県甕島薩摩川内 里公民館
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GN78.html			
1月20日(木)～	第82回プログラミング研究発表会	11月17日(水)	当日のみ	宮古島市 中央公民館 研修室
1月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO82.html			
1月21日(金)	第141回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	11月19日(金)	当日のみ	関西学院大学 大阪梅田 キャンパス
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI141.html			
1月25日(火)～	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2011 (ASP-DAC 2011)			パシフィコ横浜
1月28日(金)	http://www.aspdac.com/aspdac2011/index.html			
2月3日(木)	ソフトウェアジャパン2011「サイバー・フィジカル・システム ークラウドに組み込まれる実世界ー」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2011/		1月24日 定員になり次第	タワーホール船堀
2月5日(土)～	第108回コンピュータと教育研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
2月6日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html			
2月8日(火)～	第142回グラフィクスとCAD研究発表会	11月26日(金)	当日のみ	慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎
2月9日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG142.html			
2月10日(木)	第51回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	12月20日(月)	当日のみ	同志社大学寒梅館
	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EIP51.html			
3月2日(水)～	第73回全国大会			東京工業大学 大岡山キャンパス
3月4日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html			
3月7日(月)～	第57回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会		当日のみ	東邦大学
3月8日(火)	http://www.ishilab.net/mbl/			
3月10日(木)～	ネットワーク生態学研究グループ 第7回シンポジウム		定員になり次第	蔵王ルーセント タカミヤ
3月12日(土)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
3月10日(木)～	インタラクション2011	11月8日(火)	当日可	日本科学未来館(東京)
3月12日(土)	http://www.interaction-ipsj.org/2011/			
3月17日(木)～	第115回情報システムと社会環境研究発表会		当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月18日(金)	http://ipsj-is.jp/			
3月19日(土)～	第109回コンピュータと教育研究発表会	1月31日(月)	当日のみ	神戸大学
3月20日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html			
3月23日(水)～	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011)			東京サピアタワー
3月25日(金)	http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/			
7月18日(月)～	The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011)			Munich, Germany
7月22日(金)	http://saintconference.org/			
8月30日(火)～	6th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2011)			東京
8月31日(水)	http://www.collabtech.org/			
9月7日(水)～	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム			函館大学
9月9日(金)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			
2012年				
11月11日(日)～	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月15日 人材募集情報(10月)更新しました
- 10月12日 清水市代女流王将 vs. あから 2010 速報
- 10月8日 平成22年度論文賞候補論文推薦のお願い
- 10月6日 デジタルプラクティス「コンタクトセンタ(仮)」特集への論文投稿のご案内
- 10月4日 第52回プログラミング・シンポジウム発表募集案内
- 10月4日 あからのキャラクターができました
- 10月1日 平成22年度長尾真記念特別賞・喜安記念業績賞候補者推薦募集
- 10月1日 平成23年度代表会員候補者募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■熊本大学大学院自然科学研究科

募集人員 教授 1名
所属 情報電気電子工学専攻 先端情報通信工学講座
専門分野 システムソフトウェア分野 (特に, オペレーティングシステム, コンパイラ, プログラミング言語, 並列分散処理など)
担当科目 システムソフトウェアの基礎と応用に関する大学院・学部科目
応募資格 博士あるいは Ph.D. の学位を有し, 専門分野において優れた研究業績がある方。システムソフトウェアおよびその周辺を基盤として新分野を切り拓いていこうとする意欲が旺盛である方。教育・研究および専攻・講座の運営に対して十分な能力と熱意があり, 国際的あるいは社会的な教育研究活動に積極的な方
着任時期 採用決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書 (市販のもので可。連絡先に E-mail アドレス記入), 研究略歴および業績リスト (レフリー付き専門誌論文, 国際会議論文, 講演発表, 著書, 教育歴, 取得外部研究費 [科学研究費, 産学連携共同研究費, 各種助成金など], 特許取得, その他に分類し, 共著者はすべて記入のこと), 主要論文別刷 (10 編まで, コピー可), 教育に対する抱負 (A4 用紙に 2000 字程度), 研究に対する抱負 (A4 用紙に 2000 字程度), 所見を求め得る方 2 名の氏名・所属・連絡先
応募締切 平成 22 年 11 月 30 日 (必着)
送付先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪 2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科 情報電気電子工学専攻 専攻長 西本昌彦
「教員応募書類」と朱書きし必ず書留
照会先 自然科学研究科 情報電気電子工学専攻 先端情報通信工学講座 末吉敏則
E-mail:sueyoshi@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3629
その他 詳細は Web ページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>) をご覧ください

■熊本大学大学院自然科学研究科

募集人員 助教 1名
所属 情報電気電子工学専攻
専門分野 情報工学, 電気工学, 電子工学のいずれかの分野
担当科目 学部の情報電気電子工学分野関連の講義・実験・演習の担当など
応募資格 博士の学位を有する女性研究者で, 研究者としての経験 (ポストドクを含む) を有する方 (規定により博士課程在籍者は採用できません)
着任時期 平成 22 年度内できるだけ早い時期
提出書類 履歴書 (連絡先に E-mail アドレス記入), 業績リスト (査読付き専門誌論文, 国際会議論文, 著書・総説・解説・研究報告, 学位論文, 特許, 受賞歴, 研究助成などの取得実績 (代表・分担の別を明記すること)), 主要論文別刷 (10 編まで, コピー可), これまでの研究概要 (2000 字程度), 今後の研究計画と抱負 (1000 字程度), 学生の教育に対する抱負 (1000 字程度), 本人についての所見を求め得る方 2 名の氏名・役職・連絡先
応募締切 平成 22 年 11 月 30 日 (必着)
送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪 2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科 情報電気電子工学専攻 専攻長 西本昌彦
E-mail:nisimoto@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3852 「教員応募書類」と朱書きし必ず書留
その他 詳細は Web ページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>) をご覧ください

■筑波大学大学院図書館情報メディア研究科

募集人員	准教授 1名
専門分野	情報メディアシステム分野 時空間データベース、地理情報システム、分散協調システムなど、社会基盤システムの構築に関する分野
担当科目	専門分野に関する研究を行う。情報学群知識情報・図書館学類の授業および卒業研究指導、全学共通の授業、大学の運営に関する業務など。大学院図書館情報メディア研究科博士前期・後期課程の授業。担当する科目は次のとおり。 学部学生向け：ソフトウェア工学、専門英語、知識情報演習など／大学院生向け：協調情報メディアシステム論、実験演習など
応募資格	博士の学位を有し当該専門分野における研究業績があり、教育・研究に熱意のある方
着任時期	平成23年4月1日(予定)
提出書類	(1)履歴書(連絡先とE-mailを明記)、(2)研究業績リスト(著書、査読付き学術雑誌論文、査読付き国際会議論文、その他などに分類したもの)、(3)主要論文別刷(5編、最近5年以内、各1部、コピー可)、(4)教育・実技・実務等業績目録(研究以外の著作、担当した授業TAを含む、企業・研究所等における業務など、A4用紙1枚程度、様式自由)、(5)着任後の研究計画および教育の抱負(A4用紙1枚程度、様式自由)、(6)外部資金の獲得状況、(7)推薦書1通または意見をお伺いできる方2名のお名前、所属、連絡先住所(E-mailアドレスを含む)、および応募者との関係、(8)前記(1)～(7)の原本一揃えとともに、それらをA4サイズ(片面)にコピーしたもの1部を原本に付けてください。ただし、雑誌の表紙を加えるなどして、雑誌名と出版日が明らかであれば、当該部分のコピーを原本に代えることができます、(9)宛先を記し、80円切手を貼付した定形封筒(選考結果のお知らせに使用します)
応募締切	平成22年11月30日(必着)
送付先	〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 研究科長 植松貞夫 「情報メディアシステム分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *発送の旨を下記の照会先へE-mailで、件名(Subject名)「情報メディアシステム分野教員応募」としてお知らせください *応募書類は返却しません。また、本選考以外の用途に使用することはありません
照会先	情報メディアシステム分野 主任 佐藤哲司 E-mail:satoh@slis.tsukuba.ac.jp Tel/Fax(029)859-1391
その他	【選考方法】(1)書類審査、(2)必要に応じて面接 選考に際して面接を行うことがあります。面接の旅費等は応募者の負担とさせていただきます *筑波大学は、個人が性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できるよう「男女共同参画推進に係る基本理念・基本方針」を定めています。女性の積極的な応募を歓迎します。Webページ(http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/)もあわせてご覧ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員	教授または准教授または助教 1名
専門分野	情報工学または関連分野
担当科目	知能情報メディア工学(コンピュータグラフィクス、人工知能基礎、情報工学実験、情報基礎ゼミナール、情報工学特別講義)
応募資格	専門分野のうち、特に学科目に関連ある分野で教育・研究実績があり、次の項目に該当する方(博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方、大学院の教育・研究指導の可能な方が望ましい、教育経験のある方が望ましい)
着任時期	平成23年4月1日
提出書類	(1)履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動)、(2)研究業績リスト(著書、学術誌論文(査読付き)、国際会議論文、その他論文を区別して記載)、(3)主要論文別刷(5編程度)、(4)これまでの研究概要と今後の研究計画、(5)本学における教育研究に対する抱負、(6)博士の学位取得見込みの場合指導教授の推薦状
応募締切	平成22年12月3日(必着)
送付先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
照会先	情報工学科 学科長 浜辺隆二 E-mail:hamabe@fit.ac.jp Tel(092)606-4868 Fax(092)606-1342

■千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻

- 募集人員 助教 3名(下記の専門分野各1名の計3名)
- 所属 情報科学専攻知能情報コース
- 専門分野 (1)画像情報工学(イメージセンシング, VR, 画像情報処理, 質感情報など), (2)音声・音響情報処理(音声・話者認識, 知的信号処理, 自然言語処理など), (3)ソフトウェアシステム(並列分散処理, ソフトウェア工学, HCI, 情報検索など)
- 担当科目 情報処理, 物理・数学演習, 情報画像実験(工学部情報画像学科)などの基礎・専門科目, 全学向けの一般教養科目, および大学院融合科学研究科の科目
- 応募資格 3名のうち2名は博士号取得者または着任までに取得見込みの方。上記分野の教育研究に熱意のある方。3名のうち1名は女性に限る。博士号取得者で, 研究者としての経験(ポスドクを含む)を有する女性(博士課程在籍者は応募できません)。上記分野の教育研究に熱意のある方
- 着任時期 決定後, できるだけ早い時期
- 応募締切 平成22年12月13日(必着)
- 提出書類 (1)履歴書(連絡先とE-mailを明記), (2)業績リスト(著書, 学術論文(査読制度のあるもの), 国際会議論文(査読制度のあるもの), その他の国際会議論文, 国内学会・研究会・シンポジウム発表, 解説, 特許, 招待講演等に区分), このリストには, 論文名, 全著者名, 雑誌名, 巻, 最初と最後のページ, 発表年が記入されていること, (3)主要論文別刷(3編以内, コピー可), (4)これまでの教育研究概要と専門分野を明記し, 採用された場合の教育および研究の抱負について, 全体で2000字程度にまとめたもの。上記専門分野を1つまたは複数の場合は順番を付けること, (5)推薦者お一人からの署名入り推薦状, または応募者について意見を聞くことができる方1名以上の氏名と連絡先
- 送付先/照会先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻知能情報コース長 富永昌治
E-mail:shoji@faculty.chiba-u.jp Tel/Fax(043)290-3486 「教員公募」と朱書き簡易書留
*応募書類は原則返却いたしません
- その他 詳細はWebページ(<http://www.tj.chiba-u.jp/docs/koubo.pdf>)をご覧ください。本公募のうち1名は, 平成22年度文部科学省科学技術振興調整費(女性研究者養成システム改革加速)事業に採択された本学提案課題「理系女性教員キャリア支援プログラム」による人事です

■筑波大学図書館情報メディア研究科

- 募集人員 助教 1名
- 所属 情報メディア開発分野
- 専門分野 メディア情報学(各種コンテンツの表現・収集・生成・利用にかかわる技術的領域)
- 担当科目 学群では情報メディア創成学類のコンピュータリテラシー, 情報機器II, 卒業研究などを担当
大学院では情報メディア実験・演習を担当予定
- 応募資格 着任時に博士もしくはPhDの学位を有すること
- 着任時期 平成23年4月1日
- 応募締切 平成22年12月20日(必着)
- 照会先 図書館情報メディア研究科 杉本重雄 E-mail:sugimoto@slis.tsukuba.ac.jp
- その他 JST研究者人材データベースWebページ(<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
筑波大学教員募集Webページ(<http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/index.html>)

■豊橋技術科学大学情報・知能工学系

- 募集人員 助教(または助手) 1名
- 所属 情報・知能工学系/メディア情報学分野
- 専門分野 画像の生成と処理の融合分野, ビジュアル情報処理と応用, 知的メディア
- 応募資格 博士の学位を有し(または, 着任までに取得見込みであり), 専門分野に業績があり大学院学生の研究指導補助ができ, 情報系の実験科目の担当が可能の方
- 着任時期 平成23年4月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 (1)履歴書(学歴, 職歴, 学会活動, 社会活動, 個人で獲得した外部資金, その他特記事項), (2)研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文(査読付き), 著書, 解説論文, 特許などに分けて記載, 主要論文別刷(3編以内)), (3)これまでの研究活動の概要(1000字以内), (4)着任後の研究に対する抱負(1000字以内)
- 応募締切 平成22年12月22日(必着)
- 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報・知能工学系 系長 青野雅樹
「助教応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません
- 照会先 情報・知能工学系 栗山 繁 E-mail:kuriyama@cs.tut.ac.jp Tel(0532)44-6737
- その他 【任期】原則として5年(ただし, 再任の可能性あり)
【選考方法】第1次選考(提出書類による選考), 第2次選考(プレゼンテーションを含む面接)
詳細は, 当大学法人のWebページ(<http://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubo.html>)をご覧ください

■北海道大学大学院情報科学研究科

募集人員 准教授 1名
 所属 コンピュータサイエンス専攻数理計算科学講座
 専門分野 情報数理学に関する分野
 応募資格 博士の学位を有すること。情報数理学において優れた研究および教育業績のある方
 着任時期 平成23年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト、研究歴と業績概要(主要論文別刷5編)、教育・研究の抱負、大学の将来所見、意見を伺える方(2名)(詳細はWebページにて確認のこと)
 応募締切 平成22年12月27日(必着)
 照会先 コンピュータサイエンス専攻 教授 工藤峰一 E-mail:mine@main.ist.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6852
 その他 公募詳細については、Webページ(<http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/recruit.php>)を参照のこと

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教 1名(任期付き)
 所属 計算機システム・ネットワーク領域
 専門分野 高速実行/高機能技術、低消費電力技術を背景とした計算機アーキテクチャとオペレーティングシステム分野、および組み込みプロセッサ技術、リアルタイム処理技術、リアルタイムオペレーティングシステムを背景とした組み込みシステム分野
 応募資格 博士の学位を有し(着任までに博士取得見込みを含む)、今後の日本における上記分野の研究および教育の発展のために、熱意を有する方
 着任時期 平成23年4月1日以降できる限り早い時期
 提出書類 履歴書、研究歴(学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献、および産業技術上の貢献も含めてください)、研究業績リスト(著書、審査付き学術雑誌論文、審査付き国際会議、発表論文、特許、その他に区別)、主要論文別刷(5編、コピー可)、主たる研究概要(2000字程度)、今後の研究計画(2000字程度)、教育に対する抱負(2000字程度)、推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mail)
 応募締切 平成22年12月28日(必着)
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 赤木正人
 「教員応募書類在中(計算機システム・ネットワーク領域・助教)」と朱書し簡易書留
 照会先 情報科学研究科 田中清史 E-mail:kiyofumi@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1303 Fax(0761)51-1149
 その他 応募の詳細は本学Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/>)の求人情報をご参照ください

■豊橋技術科学大学大学院工学研究科

募集人員 助教 1名
 所属 情報・知能工学系知能情報学分野
 専門分野 分子情報システム、ケモメトリックス、機械学習の応用、グラフマイニング、およびその関連分野
 応募資格 (1)博士の学位を有し(着任までに取得見込み可)当該分野に業績がある方、(2)当該分野の研究に積極的に取り組む意欲があり、かつ、情報・知能工学系で実施する実験・演習を担当可能で、学部生および大学院生の教育研究指導に強い熱意がある方
 着任時期 平成23年4月1日以降の早い時期
 提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト(著書、査読付き学術論文、国際会議論文(査読付き)、総説・解説、特許、学位論文に分類)、(3)主要論文別刷(3編以内、コピー可)、(4)学会・社会における活動状況(所属学会、学会等における役職、受賞、国際会議発表を除く海外活動、その他アピールできる事項)、(5)外部資金獲得実績(科研費、財団助成金、産学連携、所属機関内競争経費など、代表者・分担者の別を明記、その他アピールできる事項)、(6)これまでの研究活動の概要(1000字以内)、(7)着任後の教育研究の抱負(1000字以内) *選考状況により別途書類の提出を求めることがある
 応募締切 平成23年1月7日(必着)
 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報・知能工学系系長 青野雅樹
 「助教応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却しない
 照会先 情報・知能工学系 高橋由雅 E-mail:taka@cs.tut.ac.jp Tel(0532)44-6878
 その他 【任期】任期5年(再任可)
 【選考方法】第1次選考(書類選考)、第2次選考(面接およびプレゼンテーション) *交通費・宿泊費は本人負担

■旭川工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員 助教 1名
専門分野 情報・ネットワークに関する分野
担当科目(予定) 情報基礎, 情報システム工学, 情報ネットワーク, プログラミング実習, 電気情報工学実験, 卒業研究, 特別研究(専攻科)
応募資格 (1)上記専門分野の講義・実験指導を担当できる方, (2)博士の学位又は技術士の資格を有する方(着任時までに取得見込みの方を含む), (3)教育・研究, 学生指導および地域連携に熱意のある健康な方, (4)情報ネットワークの管理ができる方が望ましい, (5)着任時における年齢が33歳以下の方が望ましい(雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号のイの適用)
着任時期 平成23年4月1日
提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, (3)主要著書・論文別刷((2)に挙げたもの, コピー可), (4)研究・開発等の履歴リストおよび研究・開発の概要, (5)教育業績リスト, (6)高専教育に対する抱負(2000字以内), (7)推薦書(2名の方からのもの, 自薦で推薦書が得られない場合は, 応募者について照会可能な方2名以内の氏名・所属・連絡先を記載した書類), (8)その他必要となる書類(資格等)
*提出書類様式は, 本校のWebページからダウンロードしてご利用ください
応募締切 平成23年1月14日(必着)
送付先 〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6 旭川工業高等専門学校 総務課人事・労務係
E-mail: s_jinji@asahikawa-nct.ac.jp Tel(0166)55-8105 Fax (0166)55-8082 「電気情報工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
照会先 電気情報工学科長 吉本健一 E-mail:yosimoto@asahikawa-nct.ac.jp Tel/Fax(0166)55-8022
その他 詳細はWebページ (<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>)をご覧ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

一般社団法人 情報処理学会は、ITに関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会はITにかかわる皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌（「情報処理」「情報処理学会論文誌」）の発行
- 各種行事の開催（研究発表会、全国大会、FIT（情報科学技術フォーラム）、シンポジウム、連続セミナー他）
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金（正会員のみ）と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証（賛助会員除く）をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員：当学会の中心的会員で、IT分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員：学校に在学中の個人
名誉会員：当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

2010年

特集：社会に浸透する新たなコンピュータ/ネットワークの世界（1月号）、e-サイエンスを実現するグリッド技術（2月号）連載：情報処理技術遺産、他

2 電子図書館（BookPark）で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

3 「連続セミナー」に会員価格（7,000円お得）で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2009年度は「進化する組込みシステム技術」をテーマに、6回の開催がありました。

4 ホットトピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」（5,000円以上お得）や「研究会」に会員価格で参加できます。

ホット
トピックス

インターネット、Eビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組み込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・アスペクト指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNAコンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

5 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.51 No.11 (Nov. 2010)

【特集：ゲームプログラミング】

- 特集「ゲームプログラミング」の編集にあたって 田中哲朗
- 探索結果を利用した実現確率探索 佐藤佳州 他
- 囲碁における勾配法を用いた確率関数の学習 松井利樹 他
- 新規節点で固定深さの探索を行う df-pn の拡張 金子知適 他
- 将棋における合議アルゴリズム—局面評価値に基づいた指し手の選択 杉山卓弥 他
- 装着型センサを用いた体感型ゲーム制作支援フレームワーク 田中宏平 他

■2次元コードを利用した情報連結方式*

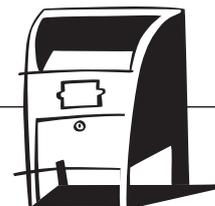
- 渋滞情報を用いた旅行時間推計方法 市河研一 他
- 水を用いたマルチディップインタフェース 池田道弘 他
- 映像と連動したインタラクティブパフォーマンスのための演者支援手法の評価 池田 惇 他
- ケアプラン策定過程におけるノウハウ情報共有システムとその教育的な効果 江藤 香 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note

【一般論文】

- アクセス制御統合による性能低下を改善する階層型アクセス制御方式 中村隆喜 他



IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約 9,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読者層：本会会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲載料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

おひいすらん

50周年記念全国大会でカメラ係に任命されるも失敗作だらけで局長を激怒させた私……。それがなぜか10月11日開催のトッププロ棋士に勝つ将棋プロジェクト「あから2010」で再びカメラ係兼受付をいっつけられた。心の広い局長がリベンジの機会を与えてくれたのだろう。と、いうわけで将棋に関してはまったく知識のない私だが、「あから2010」に参加することになった。

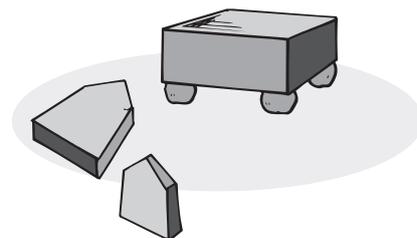
当日は受付開始の12時前から長蛇の列で最終的には750名の参加があったそうだ。盛況で何より。私はカメラ係は不安と判断されたのかIPSJ側の受付にはりついていて見られなかったが、セレモニーでは、白鳥先生と萩谷先生がアカデミックガウンに身を包み、素晴らしいスピーチを行ったらしい。

対局が始まってからは、IPSJ側の控室のモニターで様子を見ることができた。解説の人がコンピュータは意表をつく手を返し

てくると言っていて、まったくルールの分からない私は、へえーなんて思いながら見ていた。後の記者会見で女流王将の清水市代さんは、1手以外はすべて読み筋どおりだったと言っていた。コンピュータ将棋をずいぶん研究されたいらしい。もっともあから側の研究者だって相当鍛錬を積んだに違いない。清水さんに人間と指している気がしたと言わしめて86手目で勝利した。清水さんもあから側の研究者もすばらしい。両者とも今後ますます活躍していただきたい。また、このような場にいることができたことをとてもうれしく思った。

それにしても、清水さんは上品で知的でとてもすてきな女性だった。局長も同感だったらしく懇親会でツーショットの写真を撮ってあげたらご満悦だった。全国大会の失敗はチャラにしていただけたのではないかと思う。

(五味奈津子/管理部門)



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5111.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたの意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2010年11月号）の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変よい b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 特集：音声認識技術の実用化への取り組み
1. 音声認識技術の実用化への取り組み 10-1- []
 2. 携帯電話における分散型音声認識システムの実用化 10-2- []
 3. 使い勝手の良い音声インタフェースの実現 10-3- []
 4. 正方形マイクロホンアレイによる音源分離技術 10-4- []
 5. ボタンレス音声インタフェースのための音声コマンド検知技術 10-5- []
 6. 音声認識実用化に向けた高次言語モデルの検討 10-6- []
 7. 音声インタフェースの現状とイノベーションの可能性 10-7- []
 8. WFST に基づく T³ 音声認識デコーダ 10-8- []
 9. 音声認識の多言語化技術 10-9- []
 10. サーバ連携に基づく継続的な音声認識応用システム開発 10-10- []
 11. 組込み機器向け音声インタフェース技術の開発プロセス 10-11- []
- 電子書籍出版の現在（いま） 10-12- []
- 古機巡礼/二進伝心：IFIP WCC 2010 History of Computing Conference 10-13- []
- プログラミング、何をどう教えているか：文理融合学科におけるプログラミングの導入教育 10-14- []
- プログラミング、何をどう教えているか：関数型言語 Standard ML のプログラミング教育 10-15- []
- 情報処理学会 50 周年記念全国大会企画セッション「学会誌「情報処理」の未来」の報告と今後の学会誌の未来について 10-16- []
- 研究会推薦博士論文速報 10-17- []
- "I" 見聞録：DICOMO2010 10-18- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった
 - b) ありきたりの内容だった
 - c) 記事が難しすぎた
 - d) 何を言いたいのか分からなかった
 - e) 宣伝の意図が強すぎる
 - f) テーマに興味を持てなかった
 - g) その他（下記に具体的に記入ください）
- (13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。
- (14) 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
（スペースが足りない場合はお手紙を追加してください）

このところ、音声認識の実社会への適用が着実に進展しています。これまでの定番であった、コールセンタの業務効率化や両手のふさがった状態でのデータ入力、カーナビインタフェースなどに加え、議会での議事録作成支援や裁判所での録画映像のインデクス作成、携帯端末での検索キーワード入力などです。このような発展を可能にした技術の特集して紹介したら、音声認識への関心が高まり、さらに応用が広がるのではないかと、そう思って音声認識領域の研究者、技術者の方々と話をしてみました。最初の予想では、華々しい成果の解説が並ぶのかな、と思っていたのですが、出てきたテーマのリストには、さらなる発展に向けた課題が並んでいました。研究者にとっては、課題が一番大切なんだな、と再認識しました。

でも、そこに並んでいた課題は、現時点での音声認識技術が実社会に適用され、利用される中で、より便利に利用できるためには、より幅広く適用されるためには、という観点で出てきた、地に足の着いた課題でした。「編集にあたって」にも書かれていますが、音声認識技術はある意味で永遠に完成しない技術ではないかと思えます。であれば、その時その時の完成度の技術を上手に実社会に適用し、役立てていくことが大切ではないか、そして、それを通して、さらなる課題が見出され、健全な技術発展を促していく。「音声認識技術の実用化への取り組み」を編集していて、このようなことを感じました。読者の皆さんは、いかがだったでしょうか？

(山之内徹/本特集エディタ)



次号 (12月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」画像認識技術の実用化への取り組み

画像認識技術の実用化への取り組み/実社会での利用が広がる文字認識技術/半導体産業を支える画像応用検査・計測技術の現状と展望/安心安全を守るバイオメトリクス技術/安全性と利便性を両立する静脈認証技術/健康を守るマンモグラフィ診断支援/車の知能化のための画像認識技術の現状と今後/人を見る画像認識技術/デジタル機器向けオブジェクト認識技術の動向

「小特集」クラウド・セキュリティ

クラウドコンピューティングのリスクとガバナンスに関する調査・研究について/IaaS型クラウドにおける仮想マシンのセキュリティ課題/クラウドにおけるアイデンティティ管理の課題/クラウドセキュリティアライアンスとその活動について

道しるべ：ロボカップ道しるべ：第3回 中型リーグ..... 松元明弘

連載：研究会推薦博士論文速報/プログラミング、何をどう教えているか

コラム：“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 51巻11号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース.....表4 すべての会社を希望
 オーム社.....表2対向

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.

(株) Fusic

ilovex

(株) アイロベックス

INFOJAM

(株) インフォジャム

uejima

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)



Plat'Home

ぶらっとホーム (株)